

平成29年度 文化財防災訓練等実施状況報告

都道府県名

鳥取県

行 事 名 称	国指定重要文化財「矢部家住宅」消防演習
実施期間・日時	平成30年1月28日（日）午前10時00分～
実 施 場 所	国指定重要文化財「矢部家住宅」 鳥取県八頭郡八頭町用呂1278番地
主 催 者	矢部家、八頭消防署若桜出張所、八頭町（総務課防災室・教育委員会）

■実施内容

訓練の想定

矢部家住宅の北側、裏山斜面にて失火。
焚き火の火の粉が、折からの強風にあおられて、重要文化財「矢部家住宅」に飛び火し、延焼拡大中である。

訓練の内容

火災発見後、矢部家による通報。防火水槽より地元自警団による初期消火訓練と、水利3箇所からの常備消防・町消防団による連携消火訓練活動。

参加者及び役割分担

文化財所有者：火災発見・通報（1名）
 地元住民（自警団）：可搬ポンプ・放水銃による初期消火（19名）
 常備消防・町消防団：ポンプ車による連携消火（30名）
 教育委員会等その他関係者：本部待機（6名）

特に工夫した点

水利の確保が困難な場所であり遠方から中継して送水し、また、火点には発煙筒を設置するなどして実際の火災を再現し、現実かつ本格的な訓練を実施した。

問題点・課題

今回の訓練では、進入ルート（正門・裏門）が予め開放されていたが、実際の火災時には、両ルートとも閉鎖されていることが想定され進入が困難である。裏門を破壊して火点へ向かうことになる。

その他

文化財管理者による消防設備等の日常点検及び町消防団等による防火広報を引き続き実施するとともに、防火意識の高揚と有事の際に迅速な消火活動ができるよう、昭和55年1月27日から取り組んでいる当該訓練を毎年実施するよう努める。

訓練風景



放水訓練